



令和7年度

部活動地域移行推進協議会

第3回 会議資料

令和8年3月30日（月）

千葉市教育委員会

千葉市

千の葉に 時を刻んで 900年

1. 令和7年度取組みの成果と課題について

- ① 実証事業の最終報告及び成果分析
- ② 地域指導者育成・確保の成果と課題

2. 令和8年度取組み

- ① 休日部活動の地域展開：全市・全種目での「完全実施」に向けた拡大計画
- ② 受益者負担に向けた「費用徴収モデル事業」の実施
- ③ 休日の地域展開に関するロードマップ
- ④ 平日の地域展開のロードマップ

3. その他

- ① 他自治体の動向
- ② 取組みに関する周知状況

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

実証事業

全ての中・中等教育学校で、複数の部活動が実証事業に参加。**全54校151部活動**が参加し、**108の地域クラブ**を設置。9月から3月の7か月間、25回程度の活動を実施し、**2,580人**の生徒が活動。（効果測定アンケートを2月下旬～3月上旬で実施。）

問：部活動の地域クラブ移行（実証事業）はどうでしたか？（生徒）

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
R6	55.1%	37.3%	6.5%	1.1%
R7	51.9%	38.6%	6.5%	3.0%
前年比	-1.9ポイント		2.0ポイント	

問：部活動の地域クラブ移行（実証事業）はどうでしたか？（保護者）

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
R6	28.0%	53.0%	15.1%	3.9%
R7	32.2%	53.4%	10.6%	3.7%
前年比	4.6ポイント		-4.6ポイント	

生徒の満足度は「とても」「どちらかといえば」満足しているが前年度と比べて**1.9ポイント減**と微減しており、どちらかといえばを含めた「不満である」と答えた者が**2.0ポイント増**と上昇しており、全体的には満足度が若干低下している。

一方、保護者の満足度は、全体的に上昇しており、**4.6ポイント増**となっている。

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

問：部活動の地域クラブ移行（実証事業）はどうでしたか？（管理職・顧問）

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
管理職割合	18.5%	63.0%	17.3%	1.2%
顧問割合	24.1%	54.2%	16.0%	5.7%

問：地域クラブ活動への移行の取組の制度に対する満足度を教えてください。（管理職・顧問）

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	とても不満である
管理職	4.9%	45.7%	42.0%	7.4%
顧問	9.0%	52.8%	33.6%	7.5%

取組み内容への評価については、不満の割合が大きく増加

- 学校管理職・顧問共に、実証事業の満足度（約80%）と、取組みそのものについての満足度（約50～62%）と、乖離が見られた。理由としては、
 - 管理職からは、「（実証事業が9月から3月の限定であることから）4月から通年で実施するべき」や「平日も含めた地域クラブ活動への早期実施」、「完全実施の予定が変更となり8年度から9年度以降となったこと」といった指摘が多かった。
 - 顧問からは、「（平日と休日とで指導者が異なり）指導感の違いがどうしても浮き彫りになる」「地域クラブではあまり練習試合ができなかった」「平日も指導に来てほしい」「部活動と同じ活動ができなかった」など、より活動の実態に即した指摘が多かった。

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

問：部活動の地域クラブ移行（実証事業）はどうでしたか？（地域指導者）

回答	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である
R6	32.7%	40.8%	24.5%	2.0%
R7	22.4%	50.5%	23.4%	3.7%
差分	-0.5ポイント		+0.6ポイント	

- 地域指導者については、満足度が全体的に微減している。（とても満足している・満足している **0.5ポイント減**、不満である・どちらかといえば不満である **0.6ポイント増**）
- 主な理由としては、学校・顧問との連携の負担が大きかったことや、平日の活動状況がわからない、などを指摘する声や、運営事業者によっては、連携が不足しているなどを指摘する声があった。

課題

顧問・地域指導者がストレスなく活動できるように、運営事業者・地域指導者・顧問の役割を明確にし、情報連携負担が軽減できるように取り組む必要がある。

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

●参加者/関係者の声

参加者/生徒①バドミントン

地域移行の先生はとても親しみやすくわかりやすい指導をしてくれています。いつもはやらない練習や最後のゲーム練習の時対戦相手として一緒に試合をやってくれます。自分にとって先生がどんなふうにつかやどんなコースに打っているか、どんな時になんの打ち方をするかなどとても勉強になります。前のままの休日練習だったら今の自分の実力はな
いと思うほど強くなれたと思います。

参加者/生徒②新体操

楽しかったのでぜひ後輩にも体験してほしい活動です。だからこの活動が引き続いてくれると嬉しいです。

参加者/生徒③サッカー

少人数の部員数なので他校と合同のおかげで試合などに参加出来て良かった。

参加者/生徒④陸上

自分の学校に陸上部が無いので4月からも続けたい。平日も練習に参加したい。他校の生徒と仲良くなったから4月からも続けたい。

参加者/生徒⑤野球

指導者によって言っていることが違い困った。

●参加者/関係者の声

参加者/学校管理職

受託業者との調整連絡など業務が増えたので、手続きなどを簡略化すると良いと思います。

参加者/学校管理職

年度途中から実施するのではなく、4月から年間通じた事業にしてほしい。
結局は、休日に活動が行われているのか心配になるため、顧問の負担軽減につながっていない。

参加者/学校管理職

平日は学校の部活動、休日は地域クラブ、大会は学校の部活動という状態を改革する必要がある。すべて地域クラブが理想だが、少なくとも大会は地域クラブで参加する方向で改革を進めて欲しい。

参加者/顧問

地域クラブに移行したことでそれ以上に業務が増えた。平日学校での指導はこちらでメニューはこれなどの連絡や話し合いに時間がものすごく取られた。土日の連絡等も生徒や保護者は学校に聞いてくる、あれもこれも先生が伝えてと経由することでものすごく時間がかかった。

参加者/地域指導者

地域クラブの報酬だけで生計を立てられるようにしてほしい。部活動をやる気がないから地域クラブに丸投げする顧問の姿勢の改善。

参加者/地域指導者

部活アプリの入力内容は学校側も見られるはずだが、特に反応はなく、練習試合の集合時間など、必要最低限のやり取りしかない。
我々の指導の内容や活動状況について、学校側が気にしているのかどうか分からない。

参加者/地域指導者

他校と合同稽古を行った際に、指導者登録は1人でないといけないと思っている人がいました。
ほとんどの指導者が仕事をしながらの外部指導なので、1人では続けられません。
私達のように数人登録させてもらい、その日に行ける人が指導するのが、継続できる方法だと思います。

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

参考資料



【3校の陸上部を母体とした地域クラブ 60人の生徒が参加】



【人材バンク経由で採用した指導者による指導】

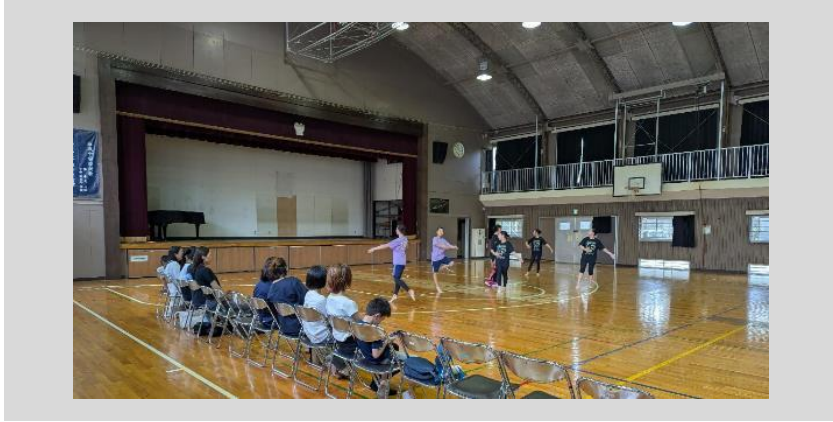


【陸上部が無い学校の陸上に取り組みたいと思う生徒が、一人で他校設置の陸上クラブに参加】

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

参考資料



【新体操クラブ参加希望者に向けての見学会】



【ヨットクラブ参加希望者に向けての見学会】



【内容充実の取組み：ヨネックス社と連携したバドミントン技術教室】



【内容充実の取組み：インターハイチャンピオンによる走力向上練習】

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

参考資料



【内容充実の取組み：福島千里さんを招いての陸上教室】



【内容充実：サッカーJEF CUO佐藤勇人さんを招いてのサッカー教室】



【地域クラブ指導者による大会引率】



【地域クラブ指導者が大会運営にも従事】

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

参考資料



【高校オーケストラ部との合同練習会】



【2校合同での吹奏楽クラブ】



【4校の合唱部が1つの地域クラブ】

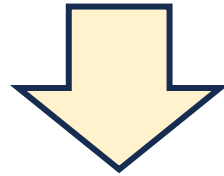


【地域の楽団所属の指導者が指導】

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

① 実証事業の最終報告と成果分析

- 実証事業は生徒・保護者の満足度は昨年度よりも若干低下したが、80%~90%と高い。
- 管理職・顧問の実証事業の満足度は、約80%と生徒・保護者と同程度であったが、取組みそのものに対する満足度は60%と低い。
- 地域指導者の満足度は約73%と昨年度と比較して10ポイント減であり、部活動との連携や運営事業者による指導者へのフォローアップ体制の指摘があった。
- 内容充実の取組みについては、様々なルート※を活用して、多くの地域資源・地域人材の取組みを行うことができた。
(※ 千葉市紹介、人材バンク登録者、指導者経由、運営事業者発掘等)
- 地域指導者の確保・兼職兼業での教員の指導者従事もおおむね問題なく確保することができた。



改善する内容（計画的な事業への取組み、平日への対応、更なる指導者の確保、運営事業者のフォローアップ体制の充実等）はあるものの、全市展開への一定の道筋は見えたものと捉えている。

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

② 地域指導者育成・確保の成果と課題

地域指導者育成の取組み

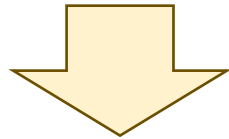
地域クラブ活動開始前に、集合研修を実施。

➤ 研修内容：

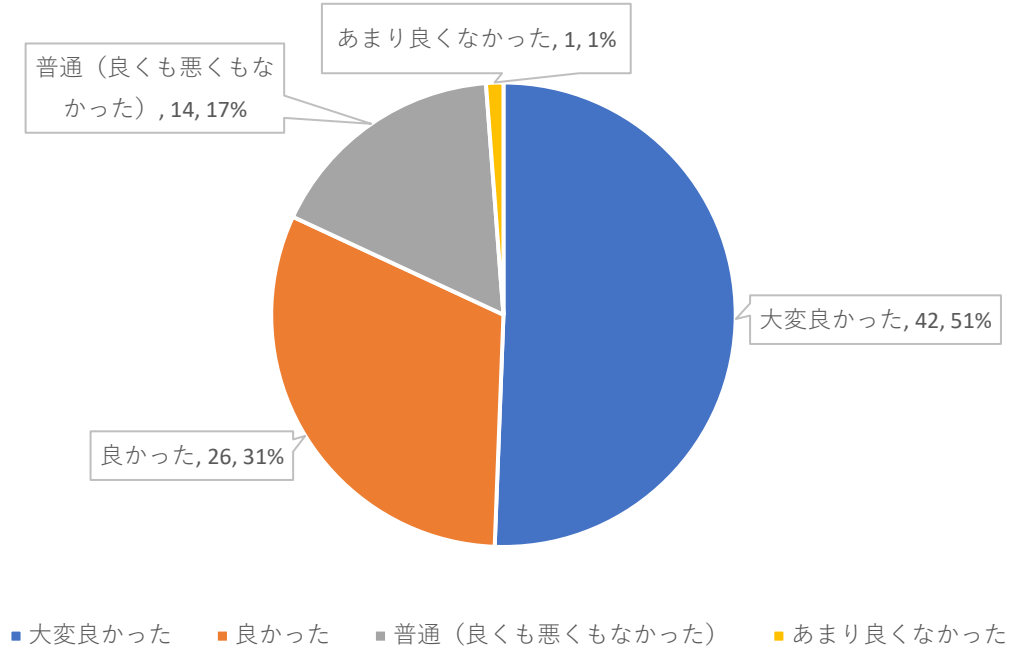
- ✓ 地域展開に関する事業説明
- ✓ ハラスメントおよびコーチング
- ✓ 心肺蘇生法及びAED研修

➤ 実施後のアンケート結果

- 「大変良かった」が51%、「良かった」が31%。



研修会について、全体的にどう感じられました？（回答必須）



指導者に対する基礎的な研修については、運営事業者が適切に実施することができた。

今後は研修内容が適切に活動に反映されているかを確認するうための方法（巡回指導者やアンケート等）や、指導者の種目別の専門性を高める取組を行うことについて検討する。

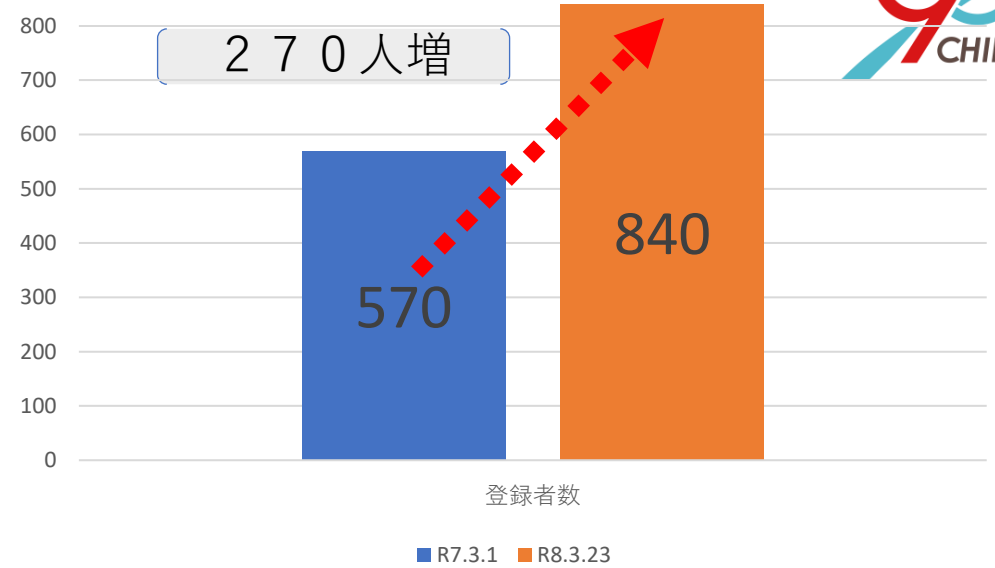
1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

② 地域指導者育成・確保の成果と課題

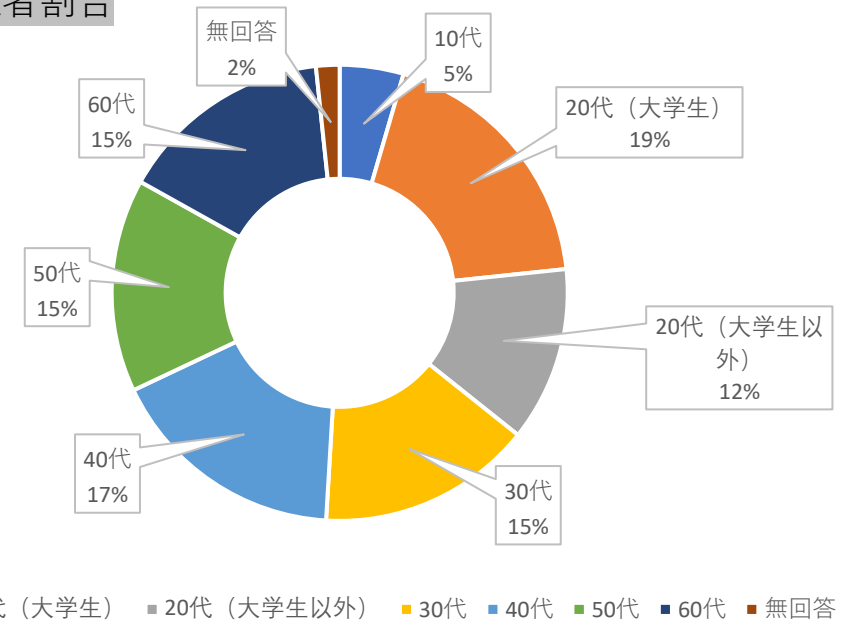
地域指導者確保のための取組み成果

- 県内大学を対象とした指導者掘り起こし（直接の訪問やポスター掲出の依頼等）
 - 訪問大学（千葉大学、東京情報大学、千葉工業大学、千葉商科大学、城西国際大学）
 - 市内大学新生ガイダンスでの指導者募集ポスター配信
- 市内ショッピングセンターへのポスター掲示（イオン・イトーヨーカドー）
- 公共施設へのポスター掲示・デジタルサイネージでの案内
- 競技団体での説明の実施（千葉市ソフトテニス協会）

人材バンク登録者数



年代別登録者割合



1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

② 地域指導者育成・確保の成果と課題

問：地域クラブの指導について周りの人に勧めたいと思うか伺います。（地域指導者向け）

回答	ぜひ勧めたい	勧めたい	あまり勧めたくない	勧めたくない	周囲に該当するような人物はいない
回答数	20	45	17	3	22
割合	18.7%	42.1%	15.9%	2.8%	20.6%

あまり勧めたくない・勧めたくない理由としては、「報酬が釣り合わない」（9人）、「学校・顧問との連携が負担」（7人）が多かった。

地域指導者育成・確保の課題

- 持続可能な地域クラブの運営のため、指導者が活動しやすい環境の構築、競技団体等と更なる連携を深め、継続的な指導者育成・確保の取組みが重要
- 国が定める認定指導者制度など新制度への対応について検討が必要

1. 令和7年度の取組みの成果と課題について

② 地域指導者育成・確保の成果と課題

「認定地域クラブ活動指導者」登録制度

別紙2

1. 目的

この指導者登録制度（以下「本制度」という。）は、認定地域クラブ活動において、指導者による暴力・暴言・ハラスメント、虐待、いじめ、無視等の不適切行為の防止等を徹底し、認定地域クラブ活動に参加する生徒が安全・安心に活動に取り組めるよう、指導者が認定地域クラブ活動で指導を行うために必要となる登録や研修等に関する基準を示すものである。

2. 定義

本制度に基づき、市区町村等が定める研修を受講し、市区町村等に登録された指導者を「認定地域クラブ活動指導者」と呼ぶものとする。

3. 研修

指導者登録に当たって、市区町村等が定める研修は、以下の内容に基づき定めることが考えられる。

（1）対象となる研修（研修実施者）

- ① 市区町村等が自ら行う研修
- ② 当該市区町村が所在する都道府県が行う研修
- ③ 認定地域クラブ活動の運営団体・実施主体が行う研修
- ④ 市区町村等が認めたスポーツ・文化芸術団体、大学等が行う研修

（2）研修の内容・実施方法

研修内容については、P17「地域クラブ活動指導者に求められる資質・能力例及び研修メニュー例」をもとに、市区町村等において具体的な内容を定めることが考えられる。

研修の実施に当たっては、対面方式のみならず、オンライン方式も積極的に活用して、一定期間ごと（例えば年1回等）に実施することが考えられる。なお、認定地域クラブ活動指導者自身が日常的・継続的に学び続けられるようオンデマンド方式による研修環境を整備することや、夏季に入る前の時期に熱中症予防に関する研修を行うこと、近隣地域等において事件・事故が起きた際にそれに対応した防止研修等を行うことも考えられる。

2. 令和8年度の取組みについて

① 休日部活動の地域展開：全市・全種目での「完全実施」に向けた拡大計画

令和7年度実証事業

全ての中・中等教育学校で、複数の部活動が実証事業に参加。**全54校151部活動**が参加し、**108の地域クラブ**を設置。9月から3月の7か月間、25回程度の活動を予定で、**2,580人**の生徒が活動。

新たな取組み

- 原則として地域指導者による地域クラブ運営（指導したい顧問は部活動として活動）
- センター種目の拡充（バドミントン、ソフトテニス、卓球を追加）
- 地域指導者による大会に向けた試行的な取組み（地域クラブカップ（仮称）の開催）
- 地域資源を活用したイベントの開催（企業保有の充実した施設等の活用）
- 地域クラブ専用のポータルサイトの運営（地域・種目などを元に参加できる地域クラブの検索HP）
- 受益者負担を踏まえた費用徴収の実施
- 引退のない地域クラブ活動（3年生も夏以降も参加できる地域クラブ）

令和8年度に向けた取組み

	学校数	部活動数	内訳
R8参加希望調査結果	52校	236部活	運動系:197部活 文化系:39部活
R7実証事業参加状況	54校	151部活	運動系:119部活 文化系:32部活



	学校数	部活動数	クラブ数	内訳
R8モデル事業（予定）	52校	165部活	120	
R7実証事業	54校	151部活	108	運動系:119部活 文化系:32部活

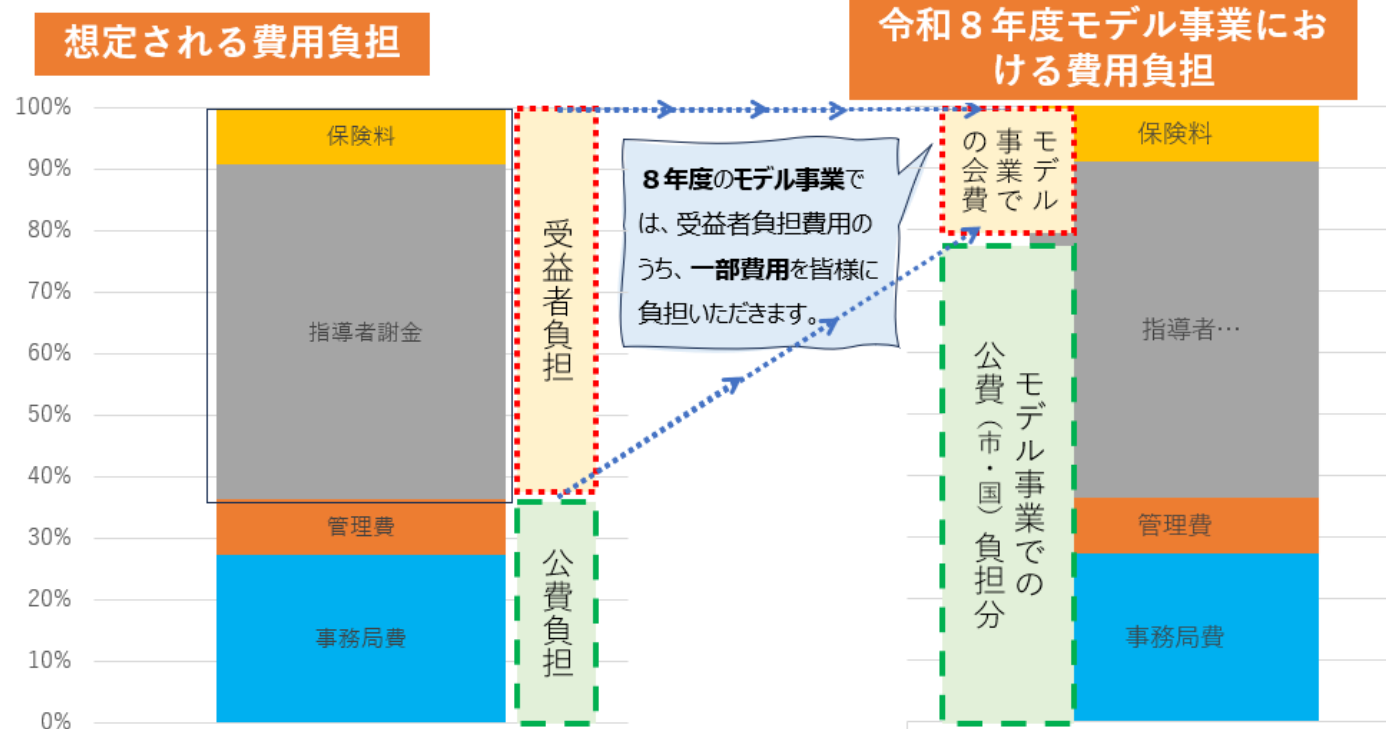
2. 令和8年度の取組みについて

② 受益者負担に向けた「費用徴収モデル事業」の実施

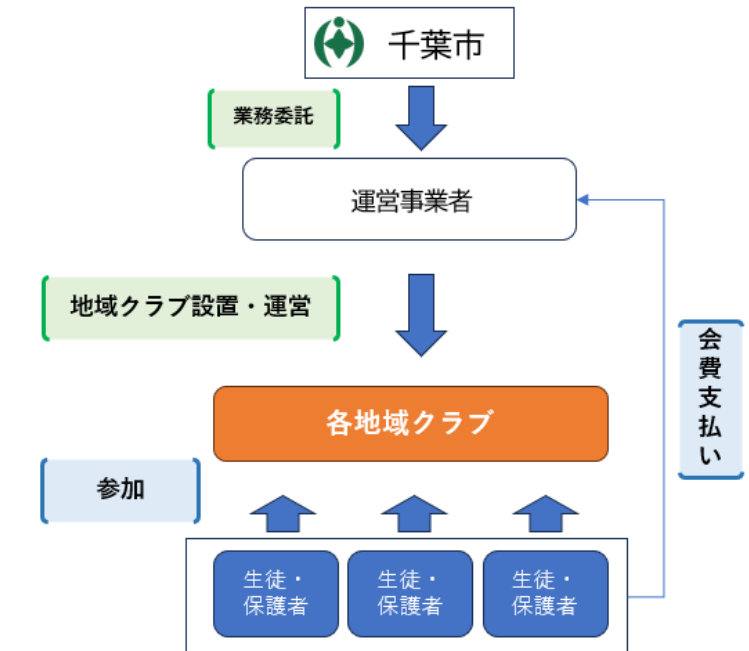
「費用徴収モデル事業」

国のガイドラインの趣旨である「公的負担と受益者負担の適切な組み合わせ」に基づき、受益者負担の実施を見据え参加者から月額1,000円程度の会費を徴収するモデル事業を実施する。（徴収主体：運営事業者、徴収総額：1,000円×7か月×2,500人＝1,750万円）

地域クラブ運営に関する経費と費用負担割合のイメージ



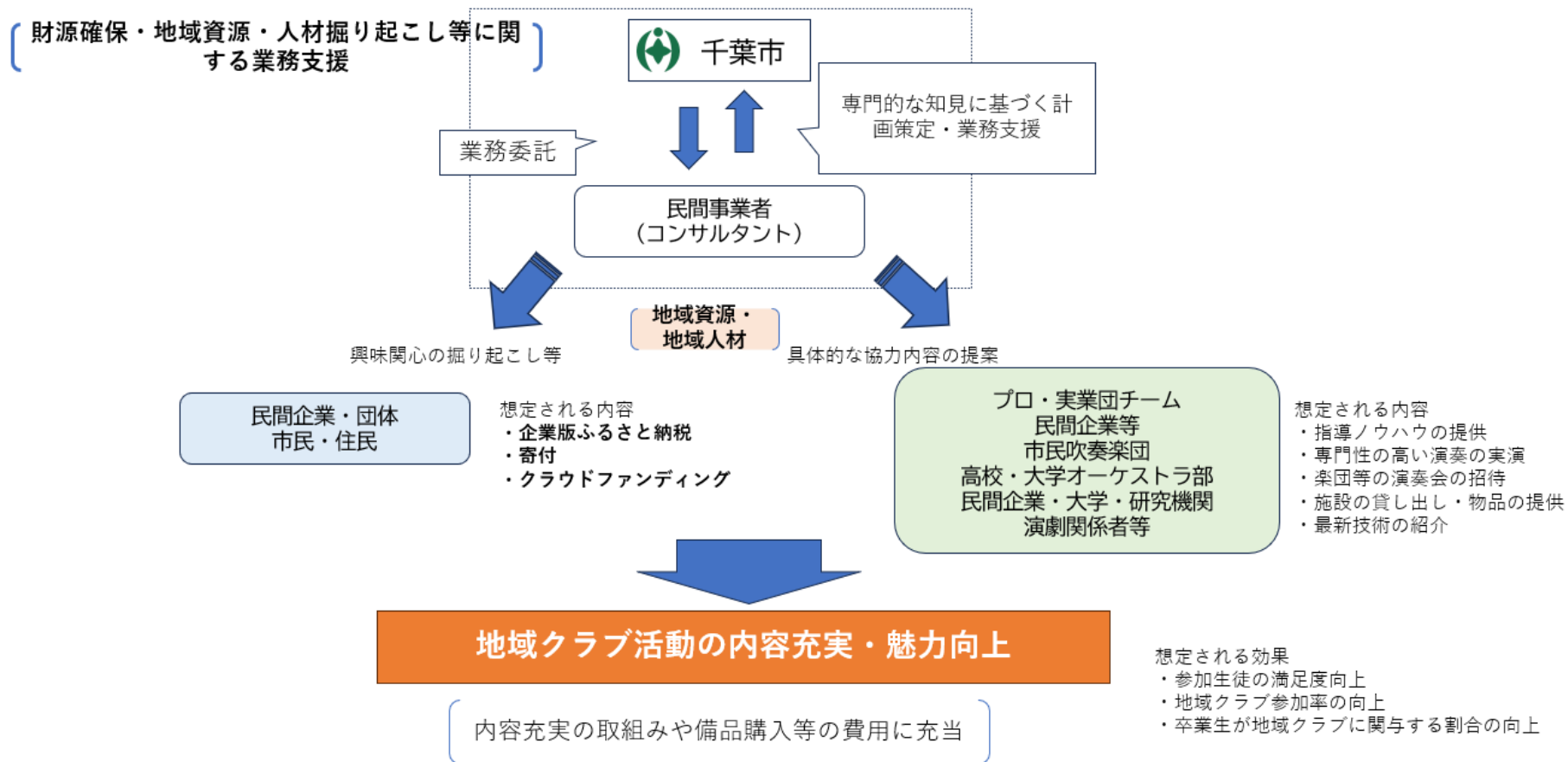
会費徴収イメージ



2. 令和8年度の取組みについて

② 受益者負担に向けた「費用徴収モデル事業」の実施

多様な財源の確保の取組みとして、協賛企業の獲得やふるさと納税・企業版ふるさと納税等の獲得のため、コンサルタントを委託



休日の地域展開のロードマップ(改訂案)

休日の地域展開のロードマップについて、令和8年度に行うモデル事業の検証等を行い、全ての部活動において休日の地域クラブ活動をスタートさせる。

改革推進期間

改革実行期間 (前期)

R5~R7

R8 (前期・中期)

R8 (後期)

令和X年

実証事業
全54校で
実施

モデル事業

料金徴収の実施
センター種目の追加
独自大会

取組検証

生徒・保護者の反応
(参加率・会費支払状況等)
大会運営状況

方針策定

実施方法・会費
等を確定し、
実施時期を決定

方針決定

関係者の理解促進に向けた周知
部活動改革の検討

休日の部活動の
原則廃止
地域クラブ活動
スタート

重点取組み

➤ モデル事業の検証

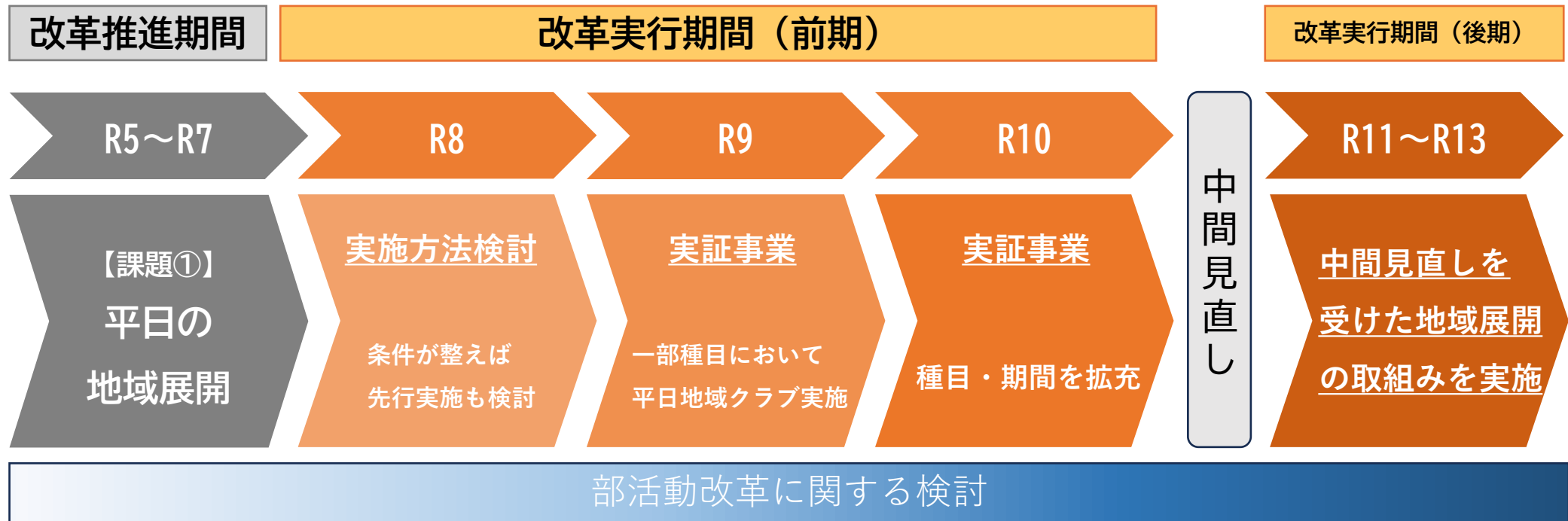
- ✓ 参加費徴収に伴う生徒の参加数等の変化 (現行参加率約90%)
- ✓ 会費徴収への影響 (事業者による徴収実施状況・滞納者状況等)
- ✓ センター種目の実施状況 (他校生徒の参加状況、既存部活動への影響)
- ✓ 運営事業者・地域指導者による大会運営 (既存大会の代替え)

➤ 方針決定に向けた詳細検討

- ✓ 必要となる地域クラブ数・指導者数
- ✓ 受益者負担額 (地域クラブ会費)
- ✓ 実施スケジュール (地域クラブ活動開始、周知タイミング等)
- ✓ ニーズ調査の実施

平日の地域展開のロードマップ(案)

平日の地域展開について、改革実行期間(前期)において実施方法の検討を行い、実際に平日の地域クラブの運営を行う実証事業に取り組む。



ロードマップ

- ・令和8年度：平日の実証事業実施方法について関係団体等と協議
- ・令和9年度：平日の地域クラブ実証事業の実施（一部種目・競技等）
- ・令和10年度：種目・期間を拡充して実施 → 中間見直しにより平日地域展開の実施方法等の検証・見直し

想定する平日の実施方法（例）

新ガイドラインにおいて部活動の活動に様々な制限が発生することなどを踏まえ、平日の地域クラブの具体的な実施方法の検討を進める。

現状：平日は一日2時間以内で各学校が設定する完全下校までの間（夏季：～18：30、冬季：～16：45等）で実施

新ガイドライン：部活動開始・終了時刻の繰り上げ等活動時間を教師の勤務時間内※で適切に設定するなどの工夫を行い（以下略）

↓

現状の部活動の体制維持が困難であるとの前提のもと、以下のような取り組みについて検討を進める。

- ・ 種目毎に活動拠点を設置（例：野球→A中学校 バドミントン→B中学校 等）
- ・ 活動時間は生徒の移動時間及び学校施設の夜間開放等を考慮し17時～19時の2時間程度
- ・ 屋外種目（陸上・野球・サッカー等）は夜間でも活動可能なグラウンド夜間照明設置校（市内6校）で実施。
- ・ 屋内種目（バレー・バスケ・剣道等）は交通の便が良い学校で実施。
- ・ 中学校体育連盟各専門部と連携し、実施方法の詳細や顧問・生徒への周知を図る。

県内自治体

□ 成田市（地域クラブ運営事業者：オークスベストフィットネス）

- 令和8年4月から休日の地域クラブ活動を完全実施。約2100人の参加を見込み、100クラブを運営予定。
- 月会費：3,500円、登録料：5,000円/年 （年総額 47,000円）
- 平日は引き続き部活動として活動し、中体連の大会には部活動として参加（例外として柔道、男子バレー、水泳、バドミントン、吹奏楽については、地域クラブとして参加予定）

□ 印西市（印西NEXUS）（地域クラブ運営事業者：アーシャルデザイン）

- 令和8年9月から12種目70クラブの本格モデル事業の実施
- 月会費：3,000円程度、年会費：5,000円/年 （年総額 41,000円）
- 平日は引き続き部活動として活動

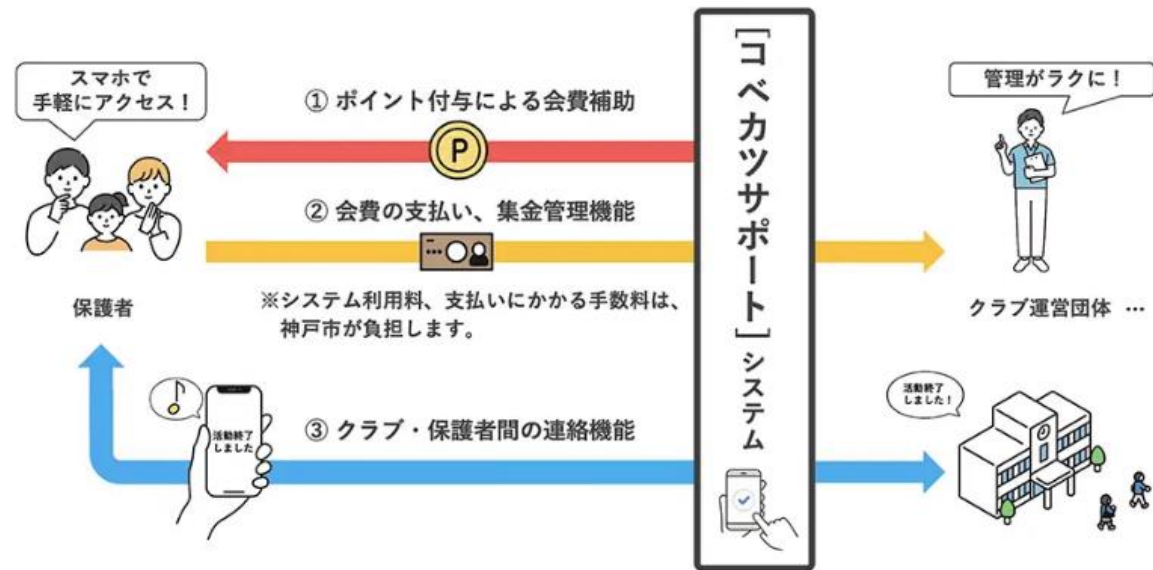
□ 佐倉市（休日地域クラブSAKURA）（地域クラブ運営事業者：アーシャルデザイン）

- 令和8年8月から休日の地域クラブでの費用徴収を実施。88クラブを想定。
- 月会費：4,000円、年会費：5,000円/年 （年総額 53,000円）
- 大会出場規定により決定する。

県外自治体

□ 神戸市

- 令和8年9月から部活動を廃止し、地域クラブ活動「コベカツ」の活動を開始
- 1,086クラブ（スポーツ：673、文化・芸術：413）が登録（現在の部活動数1080部と同程度を確保）
- 保護者の会費負担の軽減とコベカツクラブの運営支援を行うことを目的に「コベカツサポート」を構築・運営
- 生徒一人当たり月額1500円相当の支援を実施



県外自治体

□ 熊本市

- 2027年度から「新しい中学校部活動」をスタートする計画
- 令和8年3月から人材バンクの登録を開始し、部活動に配置する顧問・副顧問を広く募集を開始
- 活動日数： 平日・週4日（2時間以内）、休日・1日（3時間以内）
- 報酬（時給）：1,100円～1,600円程度
- 財政支援・物的支援などを求めるため、「部活動サポーター制度」の運用開始
 - 支援内容のHP掲載
 - 「部活動サポーター」ロゴマークの使用許可
 - 感謝状の贈呈など



**その応援が
こどもたちの部活動の
力になる★**

熊本市部活動サポーター募集！

熊本市は、中学生のスポーツ又は文化芸術活動の機会の確保及び充実を図るため、以下の支援により部活動を応援する企業等や個人の皆様を募集しています。皆様の熊本市部活動サポーターへの申請をお待ちしております。

地域展開に関する周知の取組み

□ 保護者向け周知

- 中学校保護者向け「部活動地域展開だより」、小学校保護者向け「部活動のみらいだより」の各第2号の発出（3月23日）
- 千葉市HPでの案内

□ 地域展開に協力いただいている事業者・団体等の紹介

- 千葉市ホームページで、「部活動の地域展開を応援する企業等の紹介」として、様々な形で協力をいただいている企業・団体・学校等を紹介。（<https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/hokentaiiku/tiikiikou/ouennkigyounoshoukai.html>）